

教科・科目	理科・化学基礎	単位数	2 単位	学年・学級	1 年必修
使用教科書	改訂 新編化学基礎（東京書籍）		副教材	ニューステップアップ化学基礎新課程（東京書籍）	

学校教育目標		郷土を愛し　たくましく生きよう　自ら学ぶ意欲を　持ち続けよう											
育成を目指す資質・能力		傾聴力		協働力		○	議論する力		◎				
		自省力		○	理解力		○	批判力		◎			
		自己実現力			表現力			情報活用力		◎			
学習の到達目標		物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに対する基本的な技能を身に付ける。 (2)目的を明確にして観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3)物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究する態度を養う。											
評価の観点		①　知識・技能			②　思考・判断・表現			③　主体的に学習に取り組む態度					
A 活用できる		日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化についての発展的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を的確に身に付けている。			物質とその変化から問題を見いだし、解決のための仮説を設定し、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を的確に分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。			物質とその変化に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとし、科学的な見方・考え方を応用しようとしている。					
B わかる・できる		日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。			物質とその変化から問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。			物質とその変化に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。					
C 努力を要する		日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けることに努力を要する。			物質とその変化から問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究することに努力を要する。			物質とその変化に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究することに努力を要する。					
具体的な改善方法		・授業毎の課題での得点UPやWSの適切な記述 ・各小テスト得点UP ・考查の知識・理解分野の得点UP ・基本問題の演習			・授業WSや実験WSの正確・的確な記述 ・考查の思考・判断・表現分野の得点UP ・考察問題の演習			・授業において、主体的な課題への取り組みやWSへの適切な記述 ・長期休業課題への取り組み					
評価基準 (各10段階)		A	10	～	8	A	10	～	8	A	10	～	8
		B	7	～	3	B	7	～	3	B	7	～	3
		C	2	～	1	C	2	～	1	C	2	～	1
		評価の方法 ・授業ごとの課題（WS） ・実験WS ・小テスト ・定期考查			評価の方法 ・授業ごとの課題（WS） ・実験WS ・小テスト ・定期考查			評価の方法 ・授業ごとの課題（WS） ・授業毎の振り返り ・単元毎の振り返り					

【学習計画】

月	単元	学習の目標	評価の観点			評価の方法	自己評価	実際評価
			①	②	③			
4	ガイダンス①	1 年間の学習内容、シラバスの活用方法について理解する。 ※前期の目標						
	ガイダンス②	・グループワークの意義について考察し、理解を深めることができる。			○	WS		
	1 編 化学と人間生活	・日常生活や社会を支える物質の利用を学習し、化学に対する興味関心を高めることができる。		○	○	WS		
5	1 章 化学とは何か	・日常生活や社会において物質が適切に使用されている例を通して、化学が果たしている役割を考察することができる。	○	○		実験レポート		
	2 章 物質の成分と構成元素	・混合物の分離方法と物質の三態について理解し、身のまわりの現象と結びつけて考察することができる。	○	○		WS		
6		・実験器具を適切に用いて実験の目的を達成することができる。		○	○	実験レポート		
	【前期中間考查】	※振り返り	○	○	○	定期考查		

7	2編 物質の構成	・原子の構造を説明することができる。	○	WS		
1	1章 原子の構造と元素の周期表	・電子配置のしくみを理解し、安定な条件を説明できる。	○ ○	実験レポート		
8		・元素の周期表を、元素番号と、元素記号、元素名を正確に表記することができる。	○ ○ ○	小テスト		
		・原子の構造と元素の周期表を用いて、各元素の化学的性質を整理し、規則性や法則性を見いだすことができる。	○ ○			
		・原子が陽イオンに、または陰イオンになるときの電子の動きを説明できる。	○			
9	2章 原子の構造と元素の周期表	・学習事項を活用し、化学結合の原理を理解し、身のまわりの物質と結びつけて考察することができる。	○ ○ ○	WS 実験レポート		
		・実験を通して、化学結合と結晶の性質と特徴について主体的に探究することができる。	○ ○ ○	小テスト		
	【前期期末考査】	🔄振り返り	○ ○ ○	定期考査		
		🔄後期の目標				
10	3編 物質の変化	・物質量と粒子数、質量、気体の体積との関係について理解し、知識を身に付け、計算問題に活用することができる。	○ ○	WS		
11	1章 物質量と化学反応式	・化学反応の表し方を理解し、化学反応式を書くことができる。	○	小テスト		
		・化学反応式の表す量的関係の理解から、反応物や生成物の量を求めることができる。	○			
12	2章 酸と塩基	・酸や塩基の性質や特徴を中学校での学習内容を踏まえながら理解し、身のまわりの酸・塩基と結びつけて考察することができる。	○ ○ ○	WS 実験レポート		
		・滴定の実験を通して、滴定に必要な実験器具を適切に使用できる。また、未知の酸の濃度を求めることができる。	○ ○ ○			
	【後期中間考査】	🔄振り返り	○ ○ ○	定期考査		
1	3章 酸化還元反応	・酸化還元反応は酸素、水素、電子の授受であることを理解し、知識を身に付けることができる。	○ ○ ○	WS 小テスト		
2		・化学反応と化学に関する法則の原理や歴史を理解し、計算問題に活用することができる。	○ ○			
	【学年末考査】	🔄振り返り	○ ○ ○	定期考査		
3		・実験結果から酸化還元反応の原理と法則をまとめ、科学的な見地のもと考察することができる。	○ ○	実験レポート		

🔄最終評価（自己評価／実際評価）

① 知識・理解		② 思考・判断・表現		③ 主体的に学習に取り組む態度	